

京から取り組む健康事業所宣言

1. 健康宣言とは

平成27年7月に経済団体、保険者、自治体、医療団体等民間組織で構成された「日本健康会議」が発足し、2020年までの数値目標を掲げた「健康なまち・職場づくり宣言2020」を採択しました。その宣言5に「協会けんぽ等保険者のサポートを得て健康宣言等に取り組む企業を1万社以上とする」という数値目標があります。

健康なまち・職場づくり宣言2020

宣言1 予防・健康づくりについて、一般住民を対象としたインセンティブを推進する自治体を800市町村以上とする。

宣言2 かかりつけ医等と連携して生活習慣病の重症化予防に取り組む自治体を800市町村、広域連合を24団体以上とする。その際、糖尿病対策推進会議等の活用を図る。

宣言3 予防・健康づくりに向けて47都道府県の保険者協議会すべてが、地域と職域が連携した予防に関する活動を実施する。

宣言4 健保組合等保険者と連携して健康経営に取り組む企業を500社以上とする。

宣言5 協会けんぽ等保険者のサポートを得て健康宣言等に取り組む企業を1万社以上とする。

宣言6 加入者自身の健康・医療情報を本人に分かりやすく提供する保険者を原則100%とする。その際、情報通信技術（ICT）等の活用を図る。

宣言7 予防・健康づくりの企画・実施を提供する事業者の質・量の向上のため、認証・評価の仕組みの構築も視野に、保険者からの推薦等一定の基準を満たすヘルスケア事業者を100社以上とする。

宣言8 品質確保・安定供給を国に求めつつ、すべての保険者が後発医薬品の利用動奨など、使用割合を高める取り組みを行う。

出典：日本健康会議

【日本健康会議】

民間主導で国民の健康寿命の延伸とともに医療費の適正化を図っていくことを目的として発足。

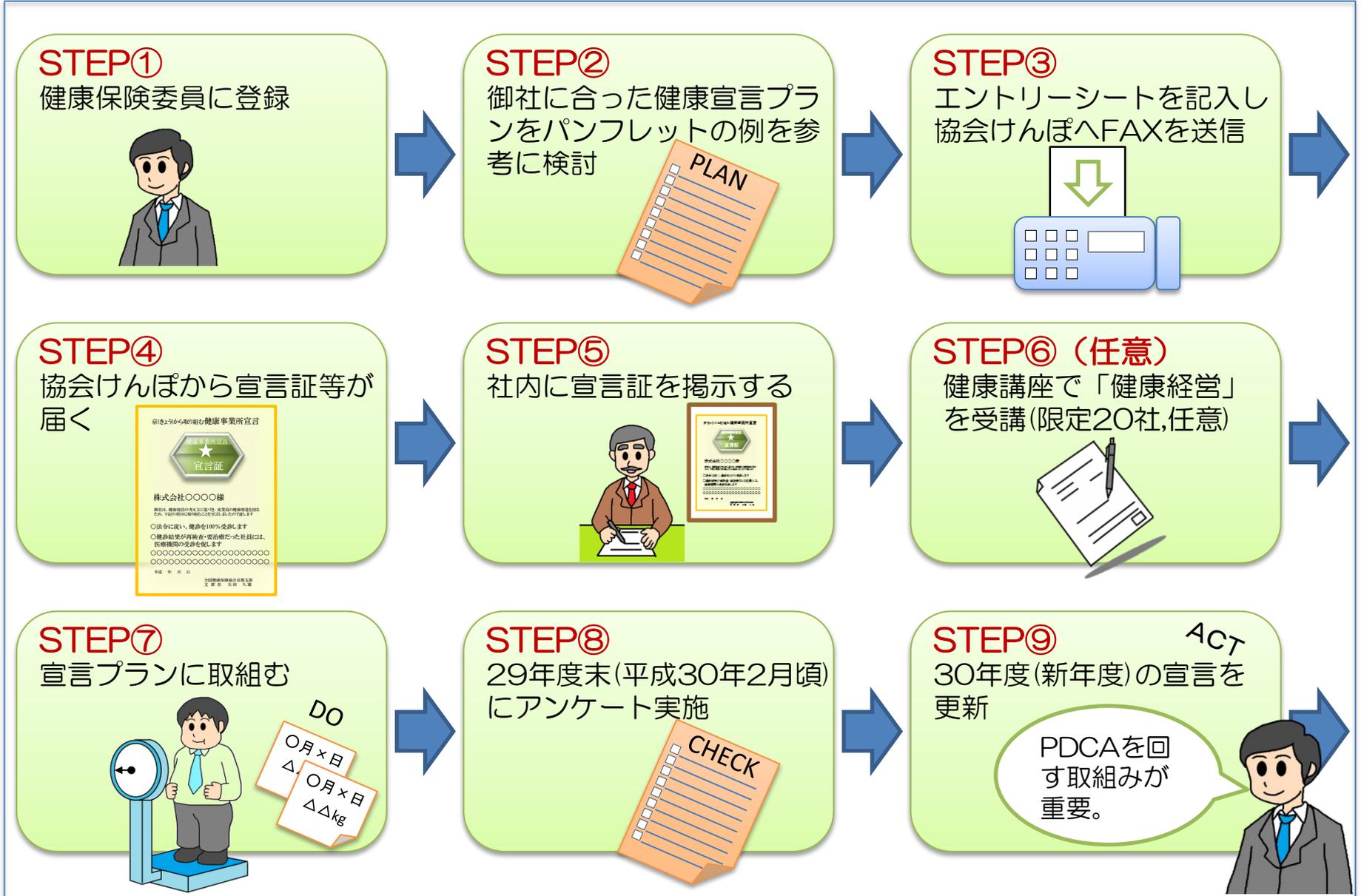
官邸を中心に厚労省・経産省による支援のもと、2020年までに「健康経営」にかかる数値目標2つを含む8つの宣言を達成することを目的に活動。

宣言5

協会けんぽ等保険者のサポートを得て、**健康宣言等に取り組む企業を1万社以上とする。**

2. 京都支部健康宣言事業

「京(きょう)から取り組む健康事業所宣言」



3. 健康宣言で取り組む内容

必須項目

- 1 法令に従い、健診を100%受診します
- 2 健診結果が再検査・要治療だった社員には、医療機関の受診を促します

オリジナル項目

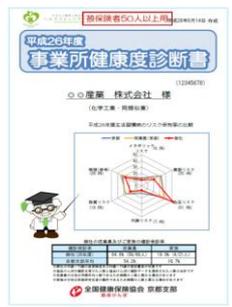
- 3 独自の健康増進の取組をパンフレットのリストから **2つ以上** 選択して取り組みます

☆取り組みへの協会けんぽのサポート☆

① 宣言証の交付



② 事業所健康度診断書の毎年送付



③ 健康おてがるパックの進呈

健康づくり冊子
健康経営冊子
ポスター

健康づくり冊子、健康経営冊子、ポスター等のセット

④ 協会けんぽ京都支部 ホームページに社名掲載

健康宣言事業所一覧

1	〇〇株式会社	××市××区・・・
2	△△株式会社	××市××町・・・
3		
4		
5		

⑤ 血管年齢測定機、 血圧計の無料レンタル



⑥ 金融機関とタイアップ

宣言事業所への融資、従業員への各種ローンの金利優遇サービス

4. 健康宣言取り組み事業所の認証や顕彰制度

取り組みを実践している企業を認証や顕彰により「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関等から、「従業員の健康管理に積極的に取り組んでいる企業」として、社会的に評価を受けることができる。

(国) 経済産業省

- ・健康経営銘柄の選定
- ・健康経営優良法人・ホワイト500(大規模法人500社目標)

※保険者と連携した取り組みを行っていること

- ・健康経営優良法人の認定(中小規模法人)

※保険者の健康宣言に取り組んでいること

(地方自治体) 京都府

- ・きょうと健康づくり実践企業認証制度

(協会けんぽ) 京都支部

- ・取組が優良な事業所の表彰制度を創設予定